

# 平成 2 1 年度 病院局予算要求方針

## 【目次】

- 1 平成 2 1 年度病院局予算要求総括表 . . . . . 1
- 2 平成 2 1 年度病院局経営方針 . . . . . 2
- 3 重点的に取り組みを行う主なもの . . . . . 3
- 4 事務事業の見直し等 . . . . . 4

# 1 平成21年度病院局予算要求総括表

## 【病院事業会計】

平成21年度要求総額 27,303,939千円  
 (平成20年度予算額 32,595,940千円)  
 前年度比 16.2%

## 《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成21年度 予算要求額 A	平成20年度 予算額 B	増 減 A - B
総合周産期母子 医療センターの 運営	1,143,253	1,112,587	30,666
救命救急センタ ー、第2夜間・ 休日急患センタ ー及び小児救急 センターの運営	2,475,624	2,216,323	259,301
医療機器の整備	687,000	590,000	97,000
施設や設備等の 改修	206,959	161,020	45,939

## 2 平成21年度病院局経営方針

深刻な医師不足等に伴い、本市病院事業の経営は大変厳しい状況にあります。まずは、医師確保に最優先で取り組むとともに、医師の処遇改善、働きがいの向上を図っていきます。

また、今年1月に策定した「病院事業経営改革プラン」に基づき、門司病院への指定管理者制度の導入をはじめとした一層の経営改善を行うとともに、地域に必要とされる質の高い医療を提供します。

### 経営改善の推進

#### 病院事業経営改革プランの推進

今年1月に策定した病院事業経営改革プランに基づき、門司病院への指定管理者制度の導入をはじめとした市立病院の経営改善に取り組みます。

### 地域に必要とされる医療機能の提供

#### 安全安心を支える医療の提供

総合周産期母子医療センター、救命救急センター、第二夜間・休日急患センター、小児救急センターを運営し、市民の安全安心を支えます。

#### 地域がん診療連携拠点病院の体制強化

外来化学療法センターによる抗がん剤治療の体制強化やセカンドオピニオン外来等の相談機能の充実など、医療センターの地域がん診療連携拠点病院としての機能強化に取り組みます。

#### 医師の確保

市民の医療ニーズに応えられるよう、医師確保に最優先で取り組みます。

### 3 重点的に取り組みを行う主なもの

#### (1) 周産期母子医療の充実

安心・安全な子どもを産める体制を維持するため、引き続き総合周産期母子医療センターの機能強化に取り組めます。

- ・産婦人科医師の確保
- ・保育器等の医療機器の整備

#### (2) 小児医療の充実

医療スタッフの増員を図るなど、引き続き小児医療の充実・強化に取り組めます。

- ・小児病棟看護師の増員
- ・小児科専門医を目指す後期臨床研修医の育成

#### (3) 門司病院への指定管理者制度の導入

結核医療の提供や地域医療ニーズへの対応などの公的医療機関としての役割を担い、かつ、市立病院の経営の改善を図るため、門司病院に指定管理者制度を導入します。

- ・指定管理者 医療法人茜会  
(下関市内で1病院、3診療所等を経営)
- ・指定期間 平成21年度から平成30年度まで

#### (4) 医師の処遇改善、働きがいの向上

医師が働きがいを感じる職場づくりのため、医師の処遇や勤務環境の改善に取り組めます。

#### 4 事務事業の見直し等

##### ( 1 ) 病院経営の見直し

結核医療の提供や地域医療ニーズへの対応などの公的医療機関としての役割を担い、かつ、市立病院の経営の改善を図るため、門司病院に指定管理者制度を導入します。

(見直し効果 約5億円)